

算数

【対象児童】 聴覚支援学校 小学部

【自立活動の項目】コ(1) (2) (3)、環(3)

【本時における自立活動のねらい】

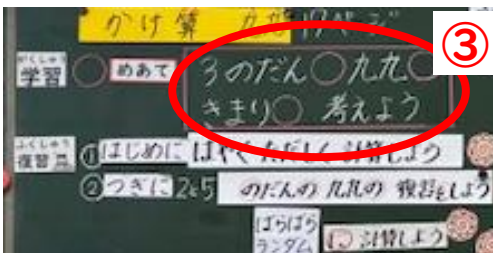
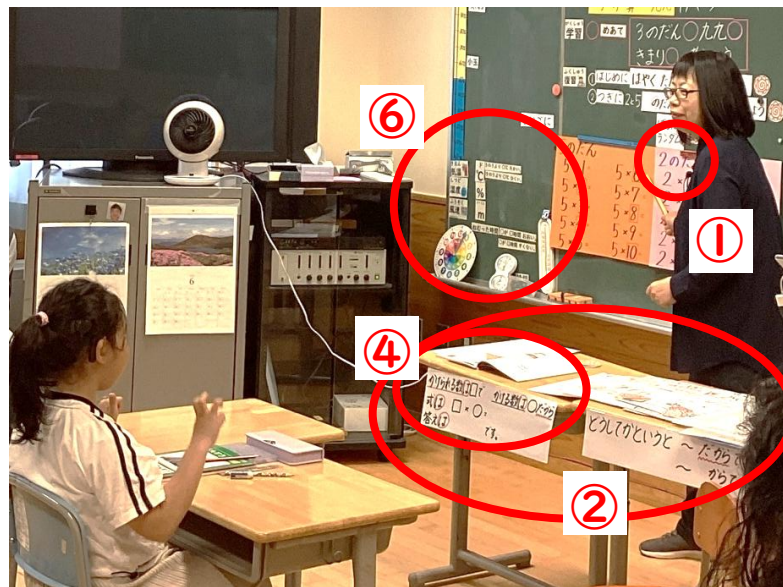
- ・めあてや問題文の意味を手話で理解し、指文字を用いて読んだり書いたりする。

〈単元を通じた配慮〉

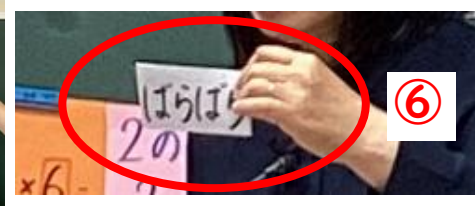
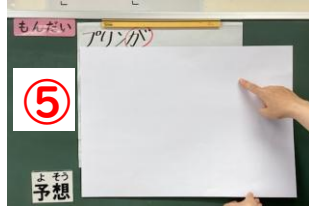
- ・補聴援助システム 赤外線マイクの使用①

- ・教室環境（基本的な挨拶、話し方の文型、既習内容の掲示等）②
- ・文末まで日本語の文型で話す、返事の仕方の徹底
- ・褒めつつ言い直しを誘導、発音のよいところを褒めることによる意識付け

- ・文字カードの工夫
助詞の指導（既習の有無やねらいに応じて赤い○で囲む③、穴埋めにするなど）／算数用語の穴埋めなど



※ここでは算数の内容に関することは載せていません。



- ・算数用語でおさえる活動を繰り返し設定④
(例) かけられる数、かける数、○の段、～ずつふえる等)
板書を写すときに一部を隠す⑤／自分で考えて書く／発表する／見ないで発表を促す等

- ・今後を見据え、算数に関連する語や内容に自然に触れる機会の設定⑥
(例) ばらばら、秒、パーセント

【児童の様子】

- ・キーワードを手話や文字カードで繰り返し確認してきたことで、問題文の内容の理解や算数用語を使って自分の考えを文章で話すことができるようになった。